

2021年6月9日

公益財団法人日本バスケットボール協会  
2020年度 7-6月期 第12回理事会 報告

日時:2021年6月9日(水) 13:30～15:30

会場:－ (WEB会議)

**【報告内容】**

1. 会長候補者選考委員会からの答申について
2. 2021年度7～6月期 事業方針および事業計画について
3. 2021年度(2021年7-6月期)予算案について
4. エグゼクティブアドバイザーの任期延長について
5. 臨時評議員会の開催について
6. 2022年度以降 D-fund 運用方針について
7. その他、報告事項

以上

## 1. 会長候補者選考委員会からの答申について

本年9月の役員改選に先立ち、6月末に開催予定の臨時評議員会に理事会より推薦する次期会長候補者について、会長候補者選考委員会からの答申を受け、答申どおり承認された。

<特記事項>

役員を選任については評議員会の権限となることより、評議員会において承認を得られるまでの間、会長候補者名を含めた一切を非公表とする。

## 2. 2021年度7～6月期 事業方針および事業計画について

2021年度7～6月期のJBA事業方針および事業計画(事業計画書)について本理事会にて議論し、事務局提案の内容にて承認された。

<特記事項>

本件については、当協会の次期事業に深く関わる根幹的な内容であるため、一般公表に先駆けて評議員会において報告し、その後、一般公表するものとする。

※公表方法:JBA公式サイト「事業計画/報告」ページへの掲出

<http://www.japanbasketball.jp/jba/data/plan/>

## 3. 2021年度(2021年7-6月期) 予算案について

2020年度予算の着地見込み、ならびに2021年度(2021年7月—2022年6月期)の予算案について審議、承認された。

<特記事項>

本件については、当協会の次期事業に深く関わる根幹的な内容であるため、一般公表に先駆けて評議員会において報告し、その後、一般公表するものとする。また2020年度の決算については、決算が確定し、すべての手続きが終了後、公開する。

※公表方法:JBA公式サイト「予算/決算」ページへの掲出

<http://www.japanbasketball.jp/jba/data/bp/>

#### 4. エグゼクティブアドバイザーの任期延長について

「FIBA モニタリング期間における特例措置に関する規程」第3条に基づき、現時点でFIBAのモニタリング期間が終了していないため、「JBA エグゼクティブアドバイザー」の川淵三郎氏の任期を延長することについて承認された。

<内容>

【対象】 JBA エグゼクティブアドバイザー 川淵三郎氏

【任期】 2024年6月30日まで

【その他】 ①FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催年度(2023年～2024年度)の最終日を任期終了の目途とするが、それ以前にモニタリング期間が終了した場合は、その終了時までとする。

②本件の決議と併せ、「FIBA モニタリング期間における特例措置に関する規程」について、新たな任期を反映したものに一部改変を行った。(※下記参照)

<特記事項>

・FIBA モニタリング期間における特例措置に関する規程抜粋

「第3条[エグゼクティブアドバイザーの任期]」

エグゼクティブアドバイザーの任期は、本規程の施行の日から2021年3月末までとする。ただし、その時点においてFIBAモニタリング期間が終了していない場合は、理事会の決議により任期を延長し、評議員会へ報告するものとする。」

・上記規程に基づき、本件は2021年6月末に開催予定の評議員会で報告する。

#### 5. 臨時評議員会の開催について

上記のとおり、次期会長候補者の選任等に関する決議、また2021年度事業計画および収支予算計画、エグゼクティブアドバイザーの任期延長について報告するための臨時評議員会を開催することが承認された。

※日時、会場等、評議員会に関する詳細は現状非公表とし、メディアブリーフィングの実施予定等の状況を鑑み、必要に応じて別途公表するものとする。

## 6. 2022 年度以降 D-fund 運用方針について

2018 年度より実施してきた登録制度改革（徴収権限の一元化、登録料の統一化）に伴い、PBA におけるガバナンス構築や JBA が推進する事業の促進に向け、「D-fund 制度」を導入。現行制度では当初 3 年間の運用としていたものの、2020 年度の事業運営にはコロナ禍も大きく影響したため、PBA 実態や PBA 財務、登録者数推移等の調査・分析等を行ったうえで、2022 年度以降の方針の見直しを提案。提案どおり、承認された。

### < 主な内容 >

- 2022-2024 年度の 3 か年は、次の制度見直しに向けて「移行期間」として位置付ける。
- D-fund 制度は、登録制度とセットでの検討なるため、抜本的見直しの検討は、引き続き継続して行っていく。
- 制度の課題として、JBA 方針に従って対応した PBA において、一部不公平が生じるため、JBA 方針の実績評価など行うことを別途検討する。  
例) 仮に 2019 年度の申請内容を基本とした場合、新たに JBA 推進事業（リーグ戦や育成センターなど）の実施にあたり、別途のファンド適用がないと推進できない。
- 2025 年度以降の方針は、2024 年 10 月ごろに PBA 提案を予定しているが、2021 年度/2022 年度の PBA 運営状況を踏まえ、前倒しすることも検討する。

## 7. その他報告事項

### (1) 全国 U15 バasketボール選手権大会開催日程について

当該大会のさらなる大会価値の向上を目指すため、昨年度「4日間」で開催した本大会の日程を今年度より「5日間」に変更して開催することが報告された。

<主な理由>

- ① 昨年大会では3日目・4日目をダブルヘッダーでこなした際の疲労による試合レベルのクオリティに悪影響が出てしまったため、2日間連続ダブルヘッダーという出場チームの過密スケジュールを軽減し、かつ試合レベルのクオリティを保つため。
- ② 今年度大会より、47都道府県代表チームに加え、「JBA推薦枠5枠×男女=10チーム」が新たに参入予定であり、合計108チームとなるため。

<大会日程>

2022年1月4日（火）～8日（土）の5日間

※ダブルヘッダーは大会3日目のみの実施。

### (2) 2021 年度天皇杯・皇后杯の大会要項について

2020年度より改編を予定していたフォーマットで両大会を開催予定だったが、コロナ禍での大会となったために再編し開催をした経緯を受けて、2021年度は当初のフォーマットにて開催する予定である旨が報告された。

<ポイント>

- ① すでに承認済みのフォーマットでの開催となるが、Bクラブの東アジアスーパーリーグ（EASL）への出場を受けて、天皇杯フォーマットに下記軽微な変更を行った。

A) 出場ラウンドの変更：前年Bリーグ1位、2位のクラブはSFからの出場とする

B) 日程の変更：上記Aを受けて、2次、3次ラウンドの試合日程の変更を行った（次頁参照）

#### ② 出場チーム

- ・B3リーグが12→15クラブに増加。全クラブが2次ラウンドから出場する＝大会出場計98チーム
- ・Wリーグが12→13チームに増加。全チームが2次ラウンドから出場する＝大会出場計60チーム

※本理事会後、各PBA向けに両大会の実施要項について共有し、一般にも公開する。

< 試合日程 >

◆皇后杯		◆天皇杯	
1次ラウンド	9月11日～12日	1次ラウンド	9月11日～12日
2次ラウンド	11月27日～28日	2次ラウンド ※開催日の増加(23日)	9月18日～20日、23日
ファイナルラウンド	12月15日～19日	3次ラウンド ※開催日の増加 (2日間⇒3日間)	10月30日～11月1日
		4次ラウンド	12月1日
		クォーターファイナル	1月5日
		セミファイナル ※B1、1位・2位クラブの参戦	2月9日
		ファイナル	3月12日

以上